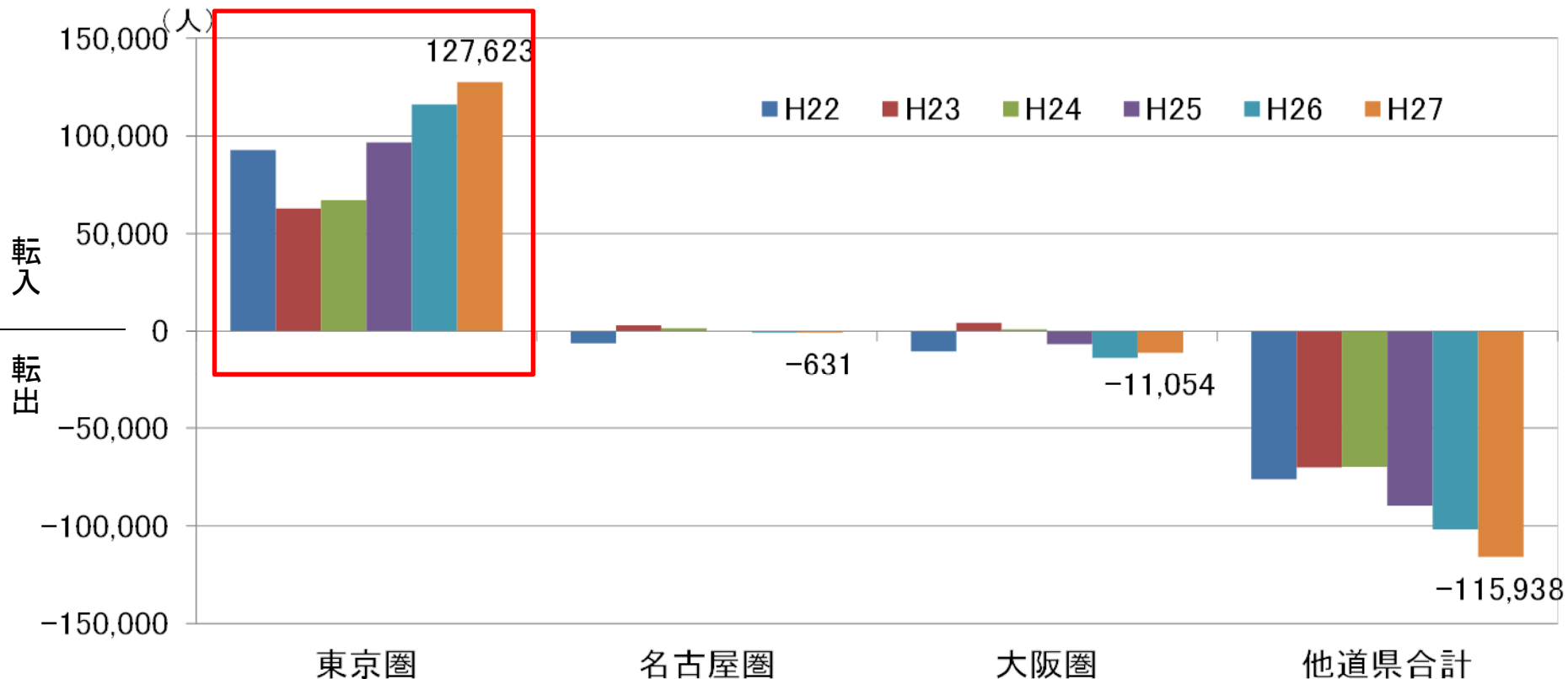


# 東京一極集中の現状について

岐阜県作成

転入超過となっているのは、東京圏のみであり、  
転入超過数は、拡大している。

都市圏別 転入超過数



(資料出所)総務省「住民基本台帳人口移動報告」(H22~H27)

(備考)東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)

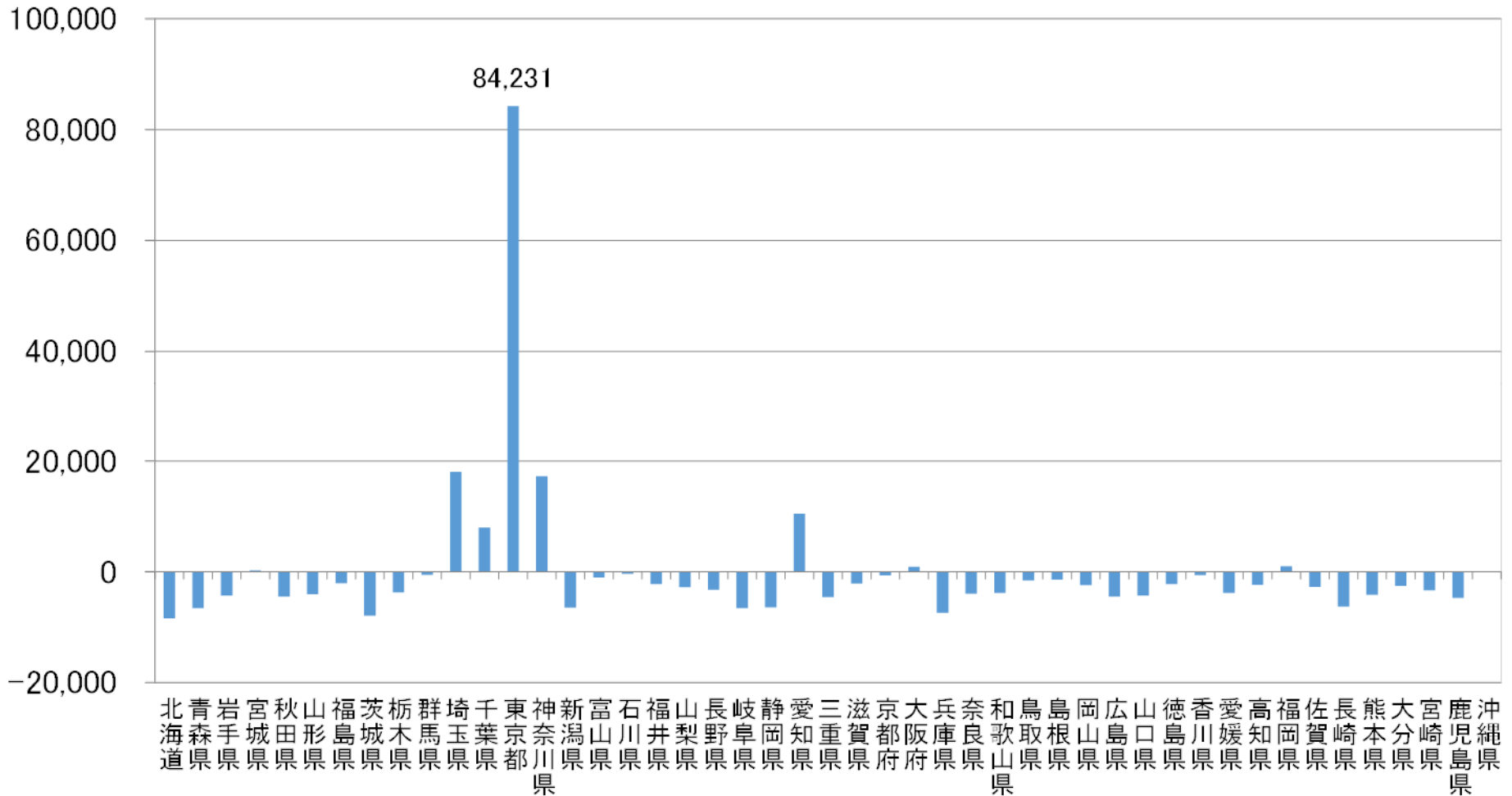
名古屋圏(愛知県、岐阜県、三重県)

大阪圏(大阪府、兵庫県、京都府、奈良県)

# 特に、東京都への転入超過が著しい。

(人)

都道府県別の転入超過数(H27)

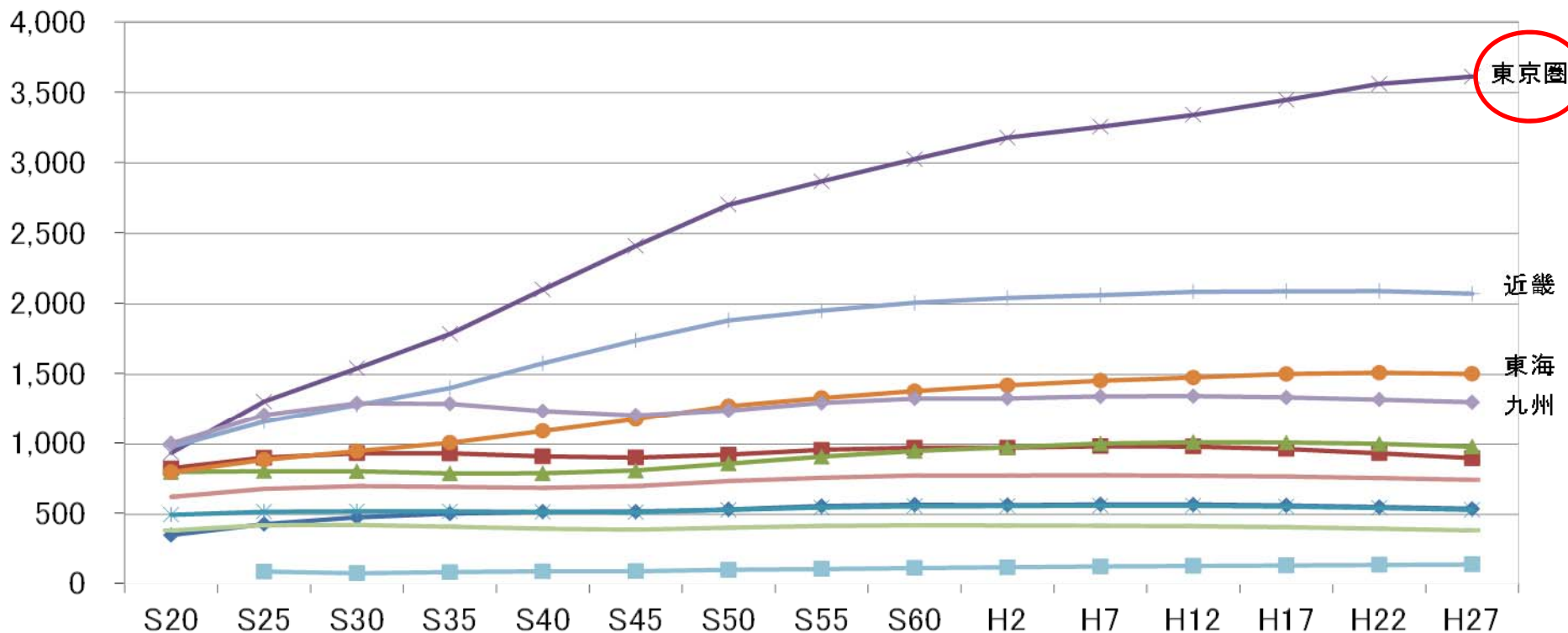


(出所)総務省「住民基本台帳移動報告」(H27)

# 東京圏の人口のみが、一貫して増加を続け、 平成27年の東京圏の人口は、日本の総人口の4分の1超に。

(万人)

地域別人口の推移(S20-H27)



(出所)総務省「国勢調査」

(備考)S20年は、沖縄県は調査されなかった。

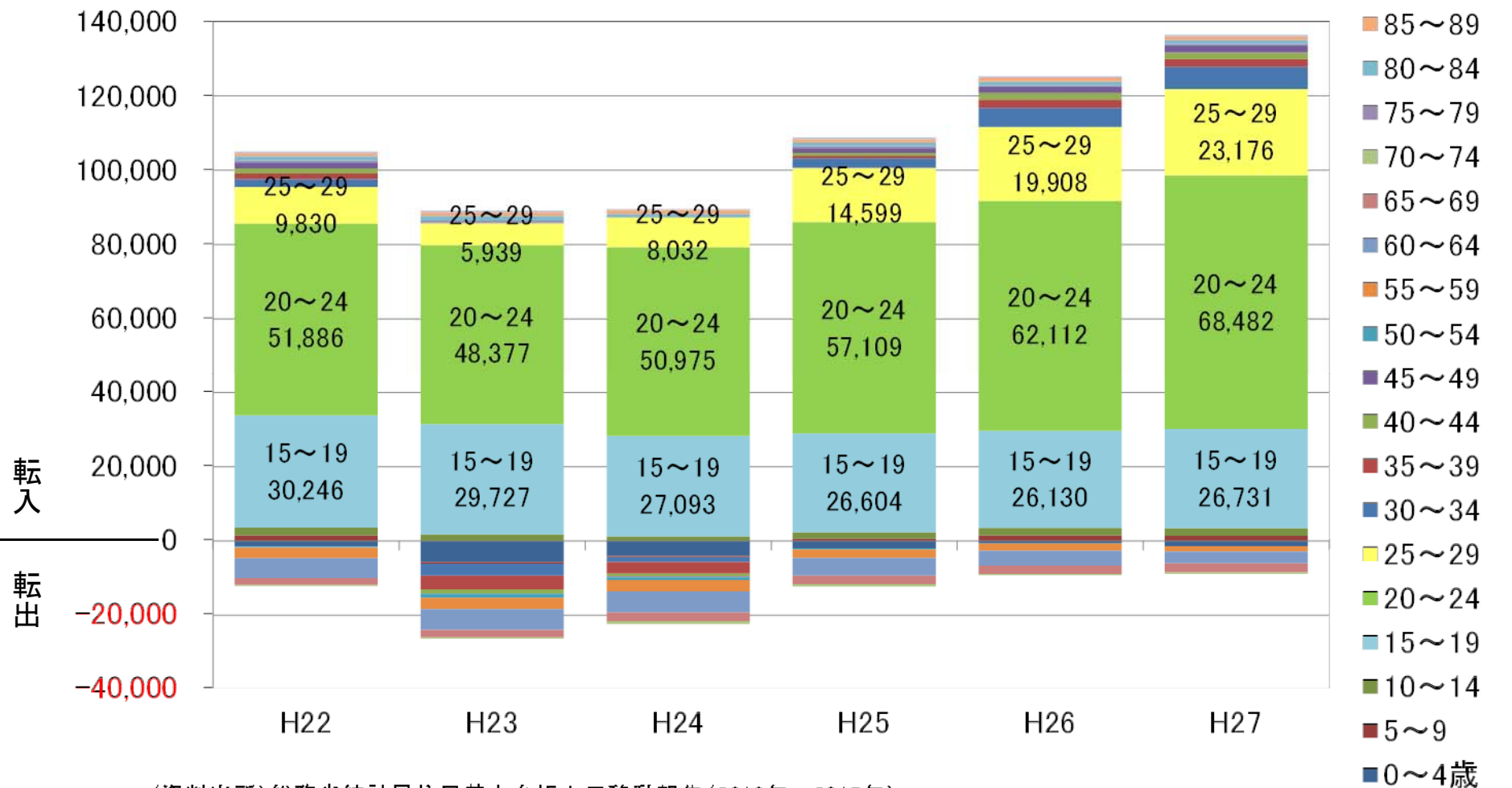
東北: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県  
 北関東: 茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県  
 東京圏: 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
 北陸: 新潟県、富山県、石川県、福井県  
 東海: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県  
 中国: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県  
 四国: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県  
 九州: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

# 東京圏への転入超過数の大半は15～29歳の若者。 大卒後就職時、大学進学時の転入が要因と考えられる。

(人)

東京圏の年齢階層別転入超過数(H22～H27)

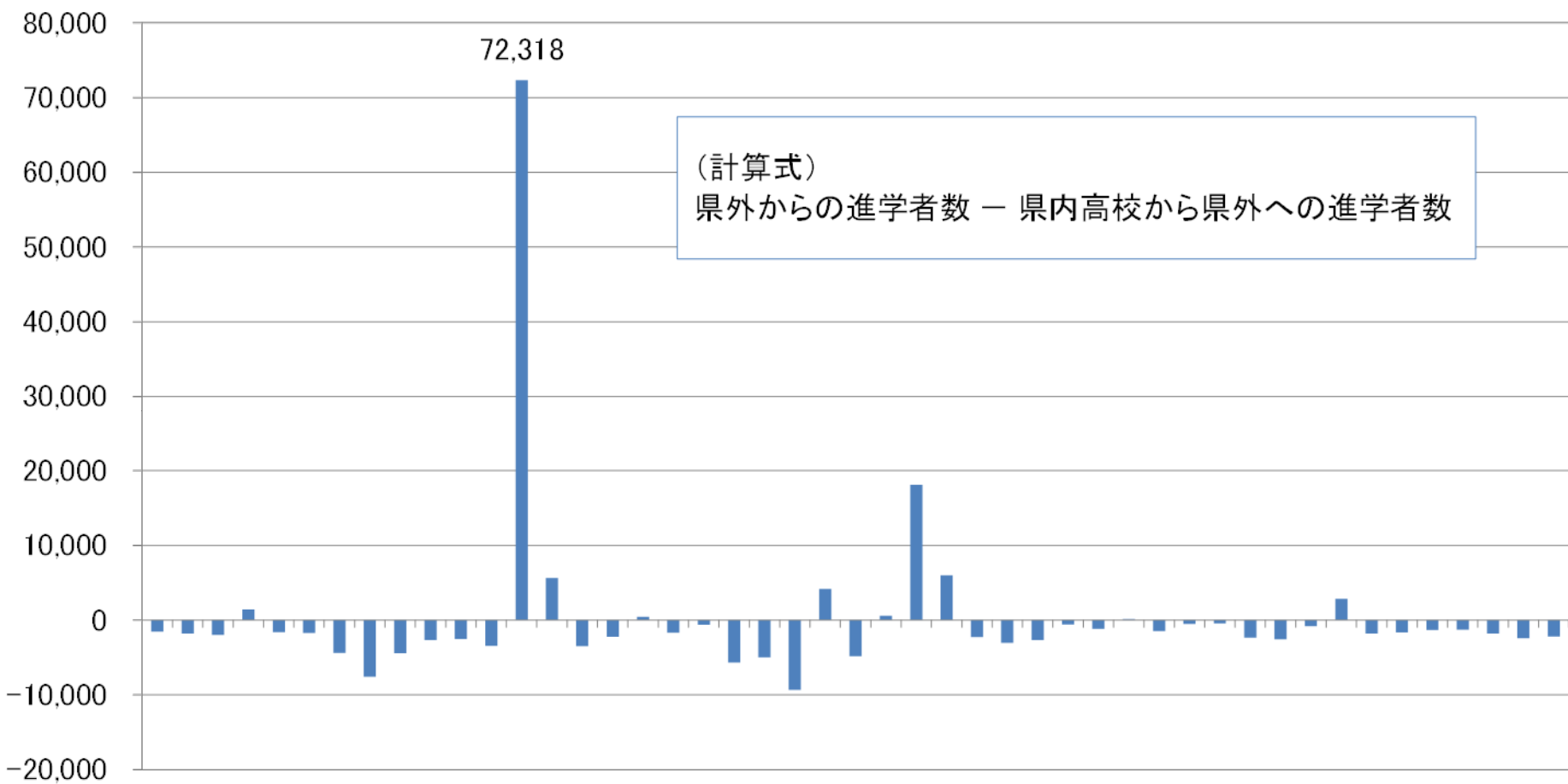


(資料出所)総務省統計局住民基本台帳人口移動報告(2010年—2015年)  
(備考)東京圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)

# 大学進学時における東京都への流入は著しい。

大学進学時の都道府県別純流入者数(平成27年度)

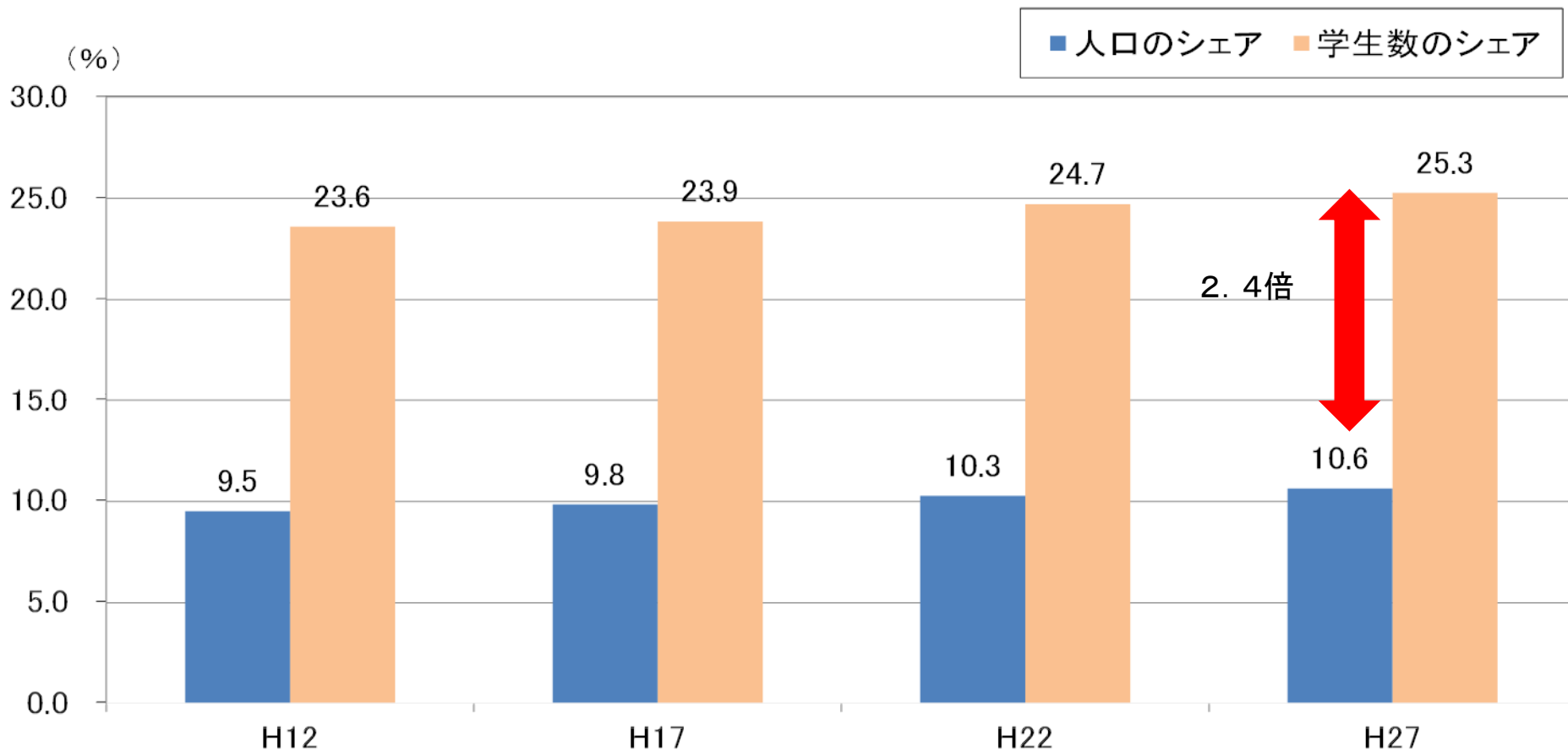
(人)



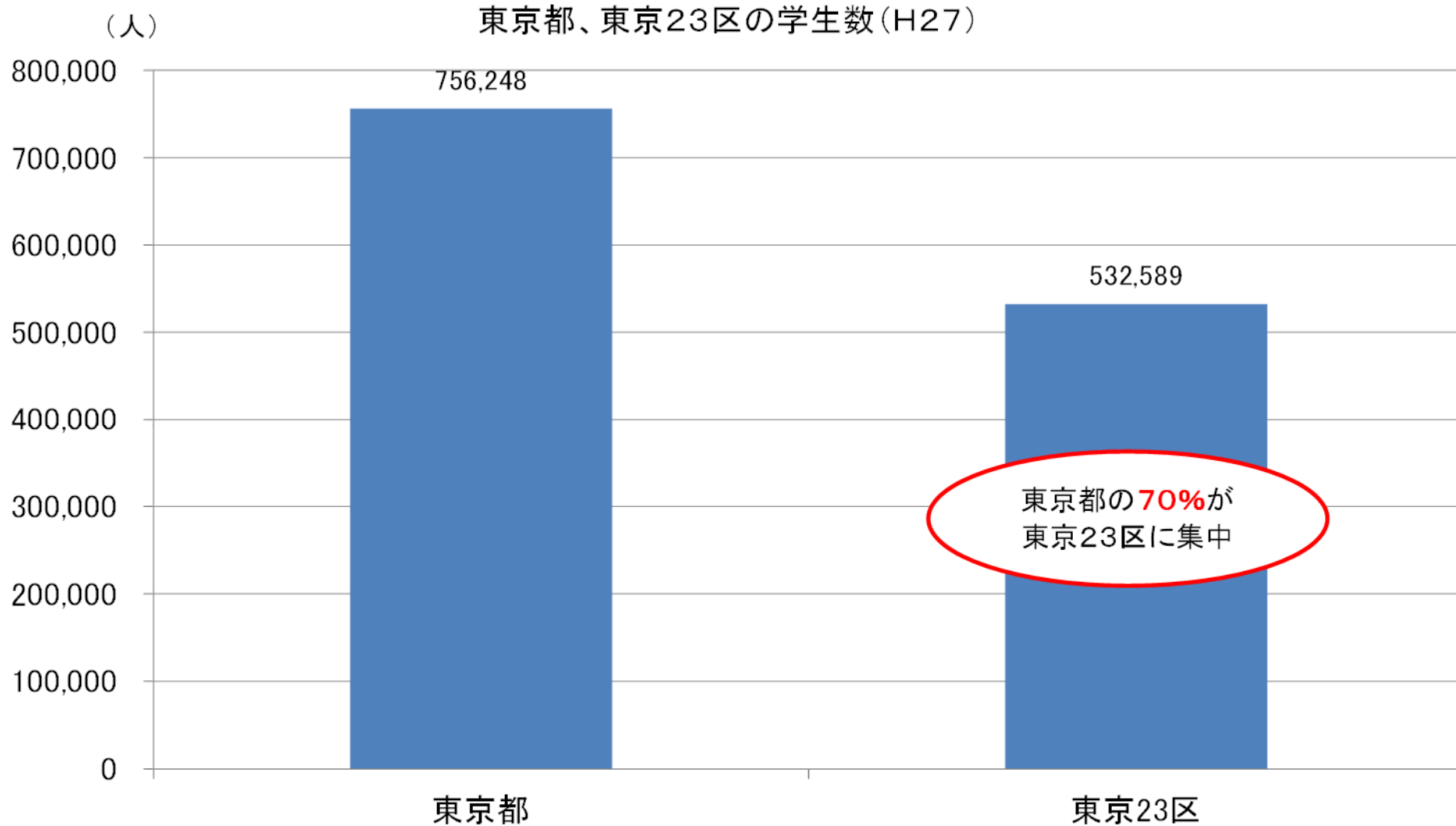
北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖  
 海道森手城田形島城木馬玉葉京奈川濁山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良山取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児島縄

東京都の総人口比は、約10%であるのに対し、  
大学生は、約25%が東京都の大学に就学している。

東京都への学生の集中状況(H22-H27)



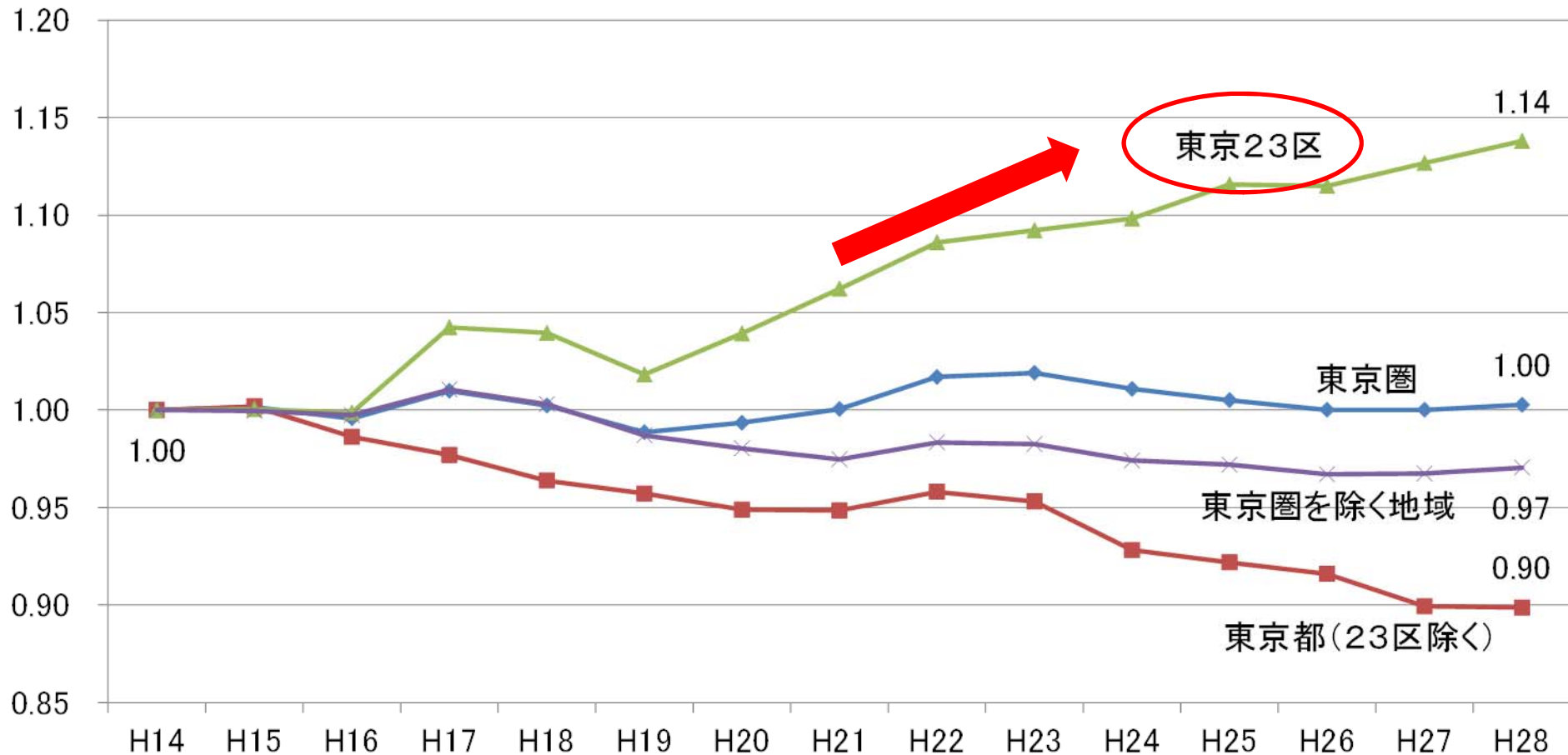
# 学生の「東京23区」への集中が著しい。





# 東京23区の学生数は一貫して増加傾向にある。

学生数の推移(東京圏、東京都(23区除く)、東京23区、その他)



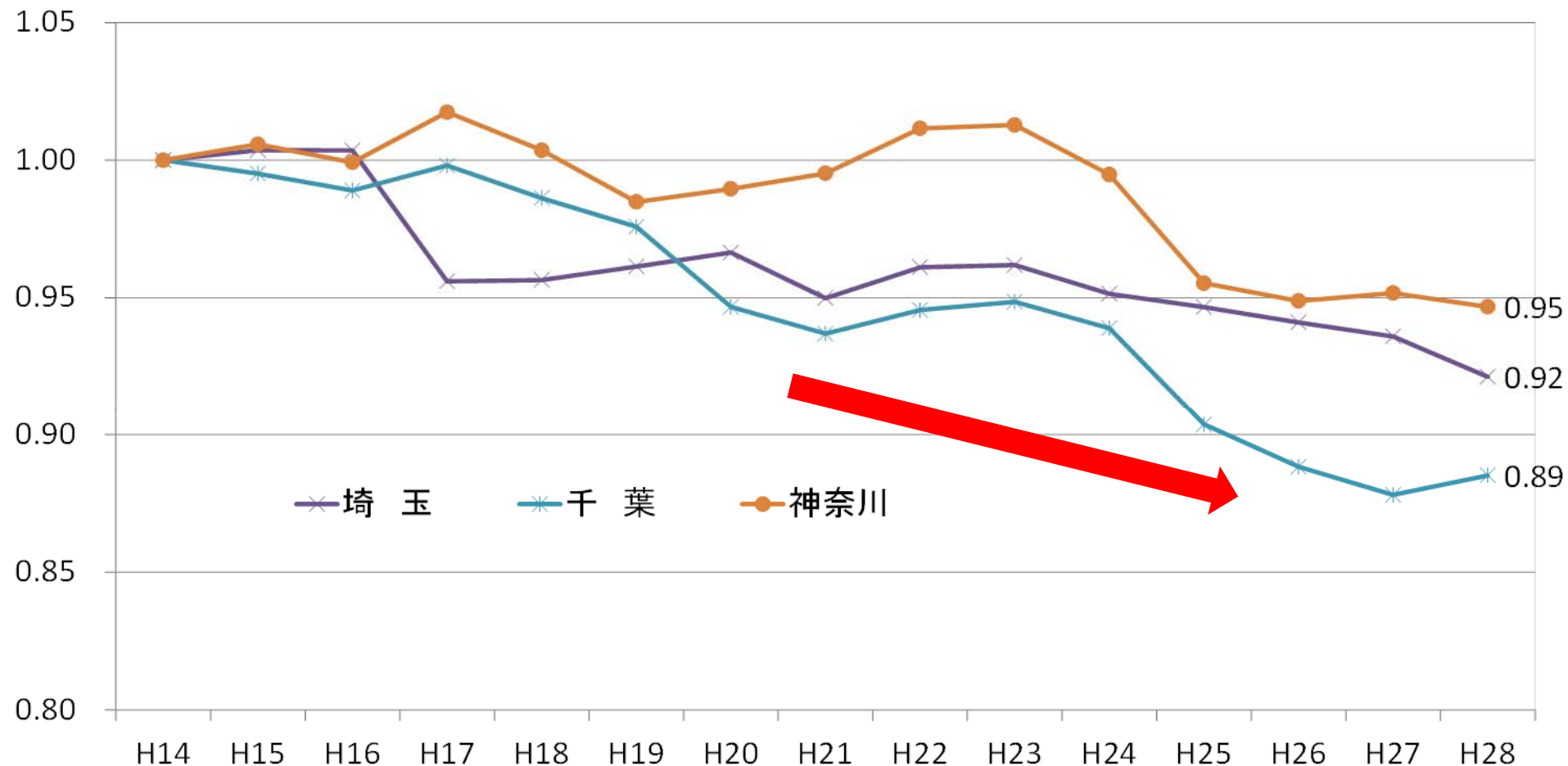
(出所)文部科学省「学校基本調査」

東京圏:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

平成14年の学生数を1.00として計算。

# 埼玉県、千葉県、神奈川県は一貫して減少傾向

学生数の推移(埼玉、千葉、神奈川)



(出所)文部科学省「学校基本調査」  
平成14年の学生数を1.00として計算。